

刈り払いと幻想の森散策 ～『土湯の森』の自然再生に向けて～

梅雨明け宣言の無いまま向かえた7月31日（金）、最上川スキー場跡地で植生の回復を図るための刈り払いを実施しました。

今年は雨も多く、昨年の植え付けした植栽木の周りでは客土による土壌改良のためか、雑草も一段と良く生長していたため、この箇所も含め0.7ha程度の面積を刈り払いしました。

このスキー場跡地では、「ブナなどの広葉樹を中心とした天然林」を目指すこととしていますが、一方で「市民参加の活動」ということも大きな目標として取り組んでいます。



みんなで刈り払い



参加者の皆さん

暑い時期の厳しい作業ですが、昨年に続いて戸沢村に訪れていたアジア学院の留学生と地域住民や神室山系の自然を守る会など多くの方が協力してくれました。

この留学生は持続可能な農業を学ぶために日本で学習している方々ですが、日本の樹木についての知識はなく、残す木の判断は難しいということが分かったため、刈り払いは草類を対象

をお願いしました。

それでも、間違っ木て木の先端部を伐ってしまう留学生もいましたが、「大事な木を伐ってすみません」とすぐに謝る姿勢や時間まで一生懸命刈り払いしている姿を見ると、これまでの私たちの取り組み方についても考えさせられるものがありました。

刈り払い作業終了後は「幻想の森」を散策しながら、日本特産の木でもあるスギなどの植物について楽しみながら学んでいただきました。



竹笛ならぬイタドリ笛「ポ～」



変な形の木がいっぱい!?

【余談】

「幻想の森」では枝や幹が折れ曲がり、それぞれが個性的な形をしているスギを気軽に見ることができます。吉永小百合さんが出演するテレビ・コマーシャルでも一躍有名になったため、県外からも訪れる方が見られます。

遊びに来られた際には、ぜひ最上川スキー場跡地にもお立ち寄りいただき、自然再生事業にも関心をお持ちいただけることを期待します。

取組は「みどり環境税」の交付を受けて実施しています。